



平成 21 年 2 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社やまびこ
代表者名 代表取締役社長 北爪 靖彦
(コード 6250 東証第一部)
問合せ先 総 務 部 長 賀川 雅雄
(TEL 0428-30-5600)

業績予想の修正および特別損失の発生に関するお知らせ

当社は平成 20 年 12 月 1 日に「株式会社共立」と「新ダイワ工業株式会社」(以下、「両社」という。)の共同持株会社として設立いたしました。同日発表いたしました当社第 1 期となる平成 21 年 3 月期(平成 20 年 12 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日)の通期連結業績予想の修正、および特別損失の発生について、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 20 年 12 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	24,000	150	50	100	9円00銭
今回修正予想(B)	19,000	1,000	1,500	2,100	190円50銭
増減額(B-A)	5,000	850	1,450	2,000	
増減率(%)	20.8				

2. 修正の理由

売上高、営業利益、経常利益が当初予想を大幅に下回ることとなった主な理由は以下のとおりです。

売上高

国内においては、農林業機械は前年同期間並みの売上となりましたが、建設、自動車、電機業界などの急激な市況悪化の影響により発電機や溶接機などの売上が大幅に減少したため、国内売上高は、当初の予想と比べると大きく減少するものと見込まれます。

海外における販売は、世界経済が急激に悪化する中で当初の予想と比べると減少するものと見込まれ、加えて当初に想定した為替レートに比べて米ドル、ユーロとも円高に推移すると見込まれることにより海外売上高は減少するものと予想されます。

営業外損益

当期中における円高の進行により為替差損が 3 億円程度発生すると見込まれます。

経営統合に伴い発生する「負ののれん」を当初の予想において 32 億円と見積っておりましたが、「新ダイワ工業株式会社」における、主に株価の急落による年金資産時価評価額の大幅減少、繰延税金資産の取崩しによる法人税等調整額の計上、および収益悪化による当期損失の計上等により「負ののれん」が 1 億 31 百万円に大幅に減少し、当期の「負ののれん」の償却費(営業外収益)

は当初予想の2億円から9百万円に減少しました。

当初5年間で償却する予定でありました開業費および創立費を、次期以降の負担を軽減するための措置の一つとして、一括償却することとしたため1億40百万円を営業外費用に計上します。

3. 特別損失の発生について

両社の経営統合によるシナジー効果を早期に実現するため、両社の基幹システム（コンピュータシステム）の一元化を前倒しで実施することとしました。これに伴い、当期（平成21年3月期）において基幹システムの統廃合による事業構造再編費用6億円を特別損失として計上します。

4. 平成21年3月期の期末配当について

平成21年3月期の期末配当につきましては、前回発表のとおり1株当たり14円の普通配当を予定しております。

5. 平成22年3月期（平成21年4月1日～平成22年3月31日）の連結業績予想について

当社を取り巻く経営環境の急激な悪化を受け、両社経営統合によるシナジー効果を早期に実現するための諸施策の前倒し実施を含め、次のような種々の緊急対策を順次実施または準備中であり、その効果の定量化や集計などを進めております。つきましては、その結果により平成22年3月期の連結業績予想の修正が必要と判断される場合には追って開示いたします。

- ・ 海外生産移管の早期化および部品現地調達の積極推進
- ・ 諸製造原価低減策の早期実施
- ・ 両社の重複機能、重複設備の統廃合の早期化
- ・ 設備投資の抑制
- ・ 諸経費の削減

上記の予想は発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に関わる発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上